



2020年11月11日

各位

会社名 株式会社 Speee
代表者名 代表取締役 大塚 英樹
(コード番号: 4499 東証 JASDAQ)
問合せ先 取締役経営管理本部長 西田 正孝
(TEL. 050-1748-0088)

2020年9月期連結業績予想の修正及び減損損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年7月10日に公表しました2020年9月期(2019年10月1日～2020年9月30日)の連結業績予想を下記の通り修正するとともに、減損損失を計上する見通しとなりましたのでお知らせいたします。

1. 連結業績の予想の修正について

2020年9月期通期連結業績予想数値の修正(2019年10月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,753	589	537	497	54.95
今回修正予想(B)	9,347	777	674	407	45.00
増減額(B-A)	593	187	137	△90	—
増減率(%)	6.8%	31.9%	25.7%	△18.1%	—
(ご参考)前期実績(2019年9月期)	7,420	198	189	21	2.53

2. 通期業績予想の修正理由

2020年9月期の連結業績につきましては、MarTech事業において取引社数等の増加により売上高が伸長し、X-Tech事業においては加盟社数及び利用者数の増加に伴い売上高が伸長し、売上獲得に対する広告宣伝費の割合を低減させることにより利益率が向上したため、売上高、営業利益、経常利益は予想数値を上回る見込みです。また、「3. 減損損失の計上について」に記載したのれんの減損損失等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表した予想数値を下回る見込みです。

3. 減損損失の計上について(連結決算)

当社の連結子会社である株式会社 Velocity について、現在の事業環境の変化を踏まえ、同社の今後の事業計画を大幅に見直いたしました。

それに伴い、同社に対して認識していたのれん42百万円の減損損失を計上することといたしました。

4. 連結子会社株式の減損処理(個別決算)

当社の連結子会社である株式会社 Velocity 及び株式会社 ThinQ Healthcare の株式について、実質価額が著しく下落したため、2020年9月期の個別決算において、関係会社株式評価損として特別損失199百万円を計上することといたしました。

なお、個別決算における関係会社株式評価損は、連結決算上消去される為、連結業績に与える影響はありません。

以上